

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2005-208658(P2005-208658A)

【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-030

【出願番号】特願2005-14354(P2005-14354)

【国際特許分類】

G 0 3 G 5/05 (2006.01)

C 0 8 F 214/06 (2006.01)

C 0 8 F 218/08 (2006.01)

C 0 8 F 220/28 (2006.01)

C 0 8 F 222/02 (2006.01)

G 0 3 G 5/06 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 5/05 1 0 4 B

C 0 8 F 214/06

C 0 8 F 218/08

C 0 8 F 220/28

C 0 8 F 222/02

G 0 3 G 5/06 3 7 1

G 0 3 G 5/06 3 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光発生層と電荷輸送層とからなり、前記電荷輸送層がポリマー固体酸を含んでいる光導電性イメージング部材。

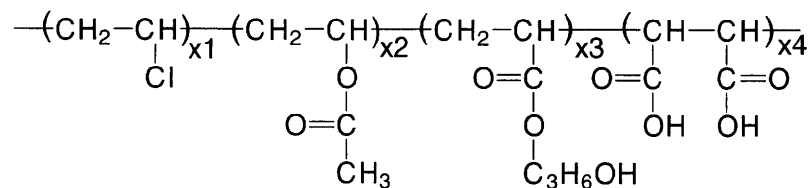
【請求項 2】

前記ポリマー固体酸が、0.0001～20重量%の量で存在するコポリマーである、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 3】

前記ポリマー酸が、式：

【化 1】



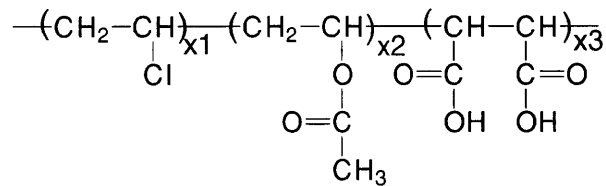
(式中、 x_1 、 x_2 、 x_3 、および x_4 は、ポリマー中の各成分のモルパーセンテージを表わし、 x_1 、 x_2 、 x_3 、および x_4 の合計が1である)のウカルマゲ(U C A R M A G)52

7（登録商標）である、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 4】

前記ポリマー酸が、式：

【化 2】

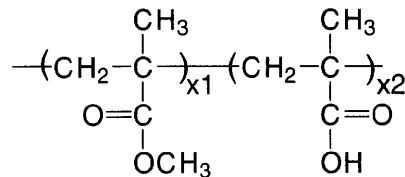


（式中、 x_1 、 x_2 、および x_3 は、ポリマー中の各成分のモルパーセンテージを表わし、 x_1 、 x_2 、および x_3 の合計が 1 である）を有する、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 5】

前記ポリマー酸が、式：

【化 3】



（式中、 x_1 および x_2 は、ポリマー中の各成分のモルパーセンテージであり、 x_1 と x_2 との合計が 1 である）のポリ（メチルメタクリレート - co - メタクリル酸）のコポリマーである、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 6】

前記ポリマー酸が、ポリ（エチレン - co - アクリル酸）、ポリ（エチレン - co - メタクリル酸）、ポリ（1, 6 - ヘキサンジオール / ネオペンチルグリコール - alt - アジピン酸）、ポリ（3 - ヒドロキシ酪酸）、ポリ（3 - ヒドロキシブチリック - co - 3 - ヒドロキシ吉草酸）、ポリ（4 - ヒドロキシ安息香酸 - co - エチレンテレフタレート）、ポリ（メチルメタクリレート - co - メタクリル酸）、ポリ（メチルビニルエーテル - alt - マレイン酸）、ポリ（スチレン - co - マレイン酸）エステル、ポリ（ビニルクロライド - co - ビニル - アセテート - co - マレイン酸）（VMCH（登録商標））、またはポリ（ビニルクロライド - co - ビニルアセテート - co - 2 - ヒドロキシプロピルアクリレート - co - マレイン酸）からなる群から選ばれるコポリマーである、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 7】

前記光発生層が、チタニルフタロシアニン、ペリレン、またはヒドロキシガリウムフタロシアニンからなる、請求項 1 に記載の光導電性イメージング部材。

【請求項 8】

x_1 、 x_2 、 x_3 、および x_4 の合計が 1 であるという条件で、 x_1 が $0.1 \sim 0.8$ であり、 x_2 が $0.05 \sim 0.3$ であり、 x_3 が $0.1 \sim 0.4$ であり、 x_4 が $0.01 \sim 0.4$ である、請求項 3 に記載のイメージング部材。